

参加報告

～帰宅困難者対策訓練に参加して～

1. 概要

2/4 に東京都、港区、品川駅周辺滞留者対策推進協議会主催の帰宅困難者対策訓練が品川駅周辺で開催され、訓練に参加しました。この訓練は、首都直下地震（M7.3）により、品川駅周辺に外国人観光客を含む多数の帰宅困難者が発生したとの想定で、駅周辺の混乱防止や安全確保に取り組むことを目的に実施されたものです。企業における従業員の施設内待機、災害用伝言板等を活用した従業員とその家族の安否確認、一時滞在施設、民間事業者による一時滞在施設の開設、運営などが実施・紹介されました。

2. 訓練内容

訓練は、品川駅のふれあい広場で開始し、10時に地震が発生して発災するという想定で行われました。訓練はふれあい公園、こうなん星の広場、品川シーズンテラスの3カ所で行われました。訓練の内容は以下の通りです。

- ・シェイクアウト訓練
- ・品川シーズンテラスでの訓練（一時滞在施設の受付～受け入れ滞在訓練）
- ・品川シーズンテラスイベント広場でのイベント参加。
- ・こうなん星の公園でのイベント参加

シェイクアウト訓練は、身を低くして頭を守り、動かないという訓練とごく簡単な訓練ですが、会社でも、とっさの場合に行動できるようにしておきたいと感じました。

一時滞在施設の開設・受け入れ訓練では、施設の受付～安否確認の体験、備蓄品の配布などがありました。通信会社による J-ANPI などを用いた安否確認の方法などは、社内で展開していくのに役立ちそうです。

品川シーズンテラスイベント広場でのイベントは、日本赤十字社の「身近なものを用いた応急手当方法」、NTT 東日本の「伝言ダイヤル使い方ポイント」を学びました。これらはいずれも実践で大変役に立ちそうで、これも会社の訓練時に導入できそうだと



感じました。

こうなん星の公園では、自衛隊の災害派遣普及活動、警視庁による簡易担架による救助訓練、東京大学による帰宅困難者のVR体験、消防庁の地震体験、東京都総合防災部による帰宅困難の疑似体験などに参加しました。一旦地震が起きると、人が道路に出て帰宅しようとするだけで、満員電車の様な状況になること、群衆雪崩の恐ろしさがよくわかり、更に帰宅抑制のことを真剣に考えるきっかけにもなりました。



3. 終わりに

今回、帰宅困難者対策訓練に参加したのは、昨年、わが社が東京都一斉帰宅抑制推進企業に認定されたことがきっかけです。東京都一斉帰宅抑制推進企業認定が、防災意識を高めることにもつながっているという実感があります。

今回のような訓練に他の社員も積極的に参加してもらい、自分の命を守るすべを身に着けてもらうとともに、日ごろあまり考えない、「もしもの時の行動」を考えるきっかけになればと考えました。

また、東京都一斉帰宅抑制推進企業として会社全体で防災意識を更に高めるとともに、会社が地域防災でも貢献できるようにしていきたいと思えます。



以上